

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事故(速報)発生状況】 (H23.2.28現在)

| | 2月発生件数 | 累計件数 | 死亡者数 | 負傷者数 |
|-------------|--------|------|------|------|
| 平成22年度(今年度) | 7件 | 77件 | 3人 | 25人 |
| 平成21年度(昨年度) | 8件 | 89件 | 1人 | 36人 |

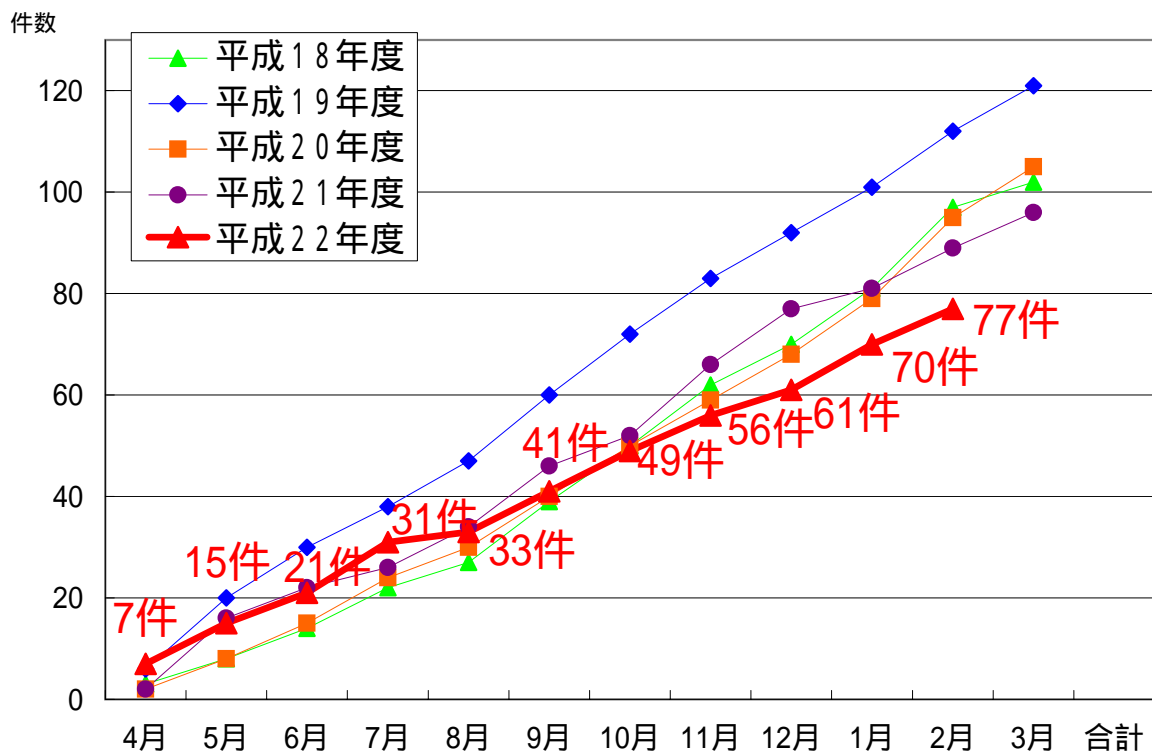
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

注2) 「2月発生件数」は、2/1～2/28の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～2/28の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～2/28の累計人数を示す。

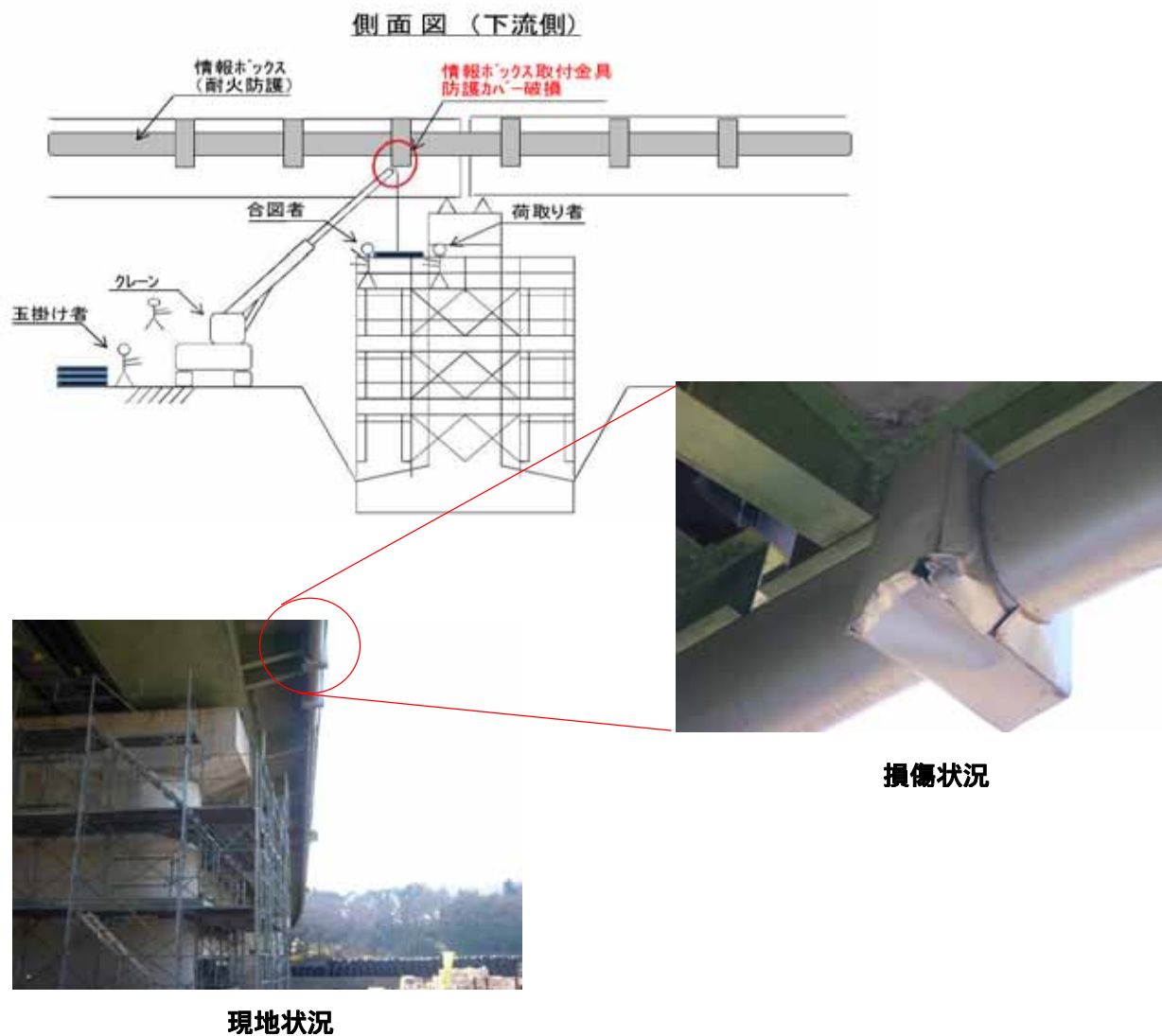
注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先:企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

| | | | | |
|-------|---|-------|----|------------------|
| 発生日時 | 平成 23年 2月 1日 (火) | 9時 5分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 維持修繕工事 | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 |
| | - | - | - | 情報BOX取付金具防護カバー損傷 |
| 事故概要 | 足場仮設時、クレーンにて資材を吊り上げた際に、橋に添加されている情報ボックス取り付け金具の防護カバーに接触し、カバーを損傷させたもの。 | | | |

事故発生状況



【事故発生原因】

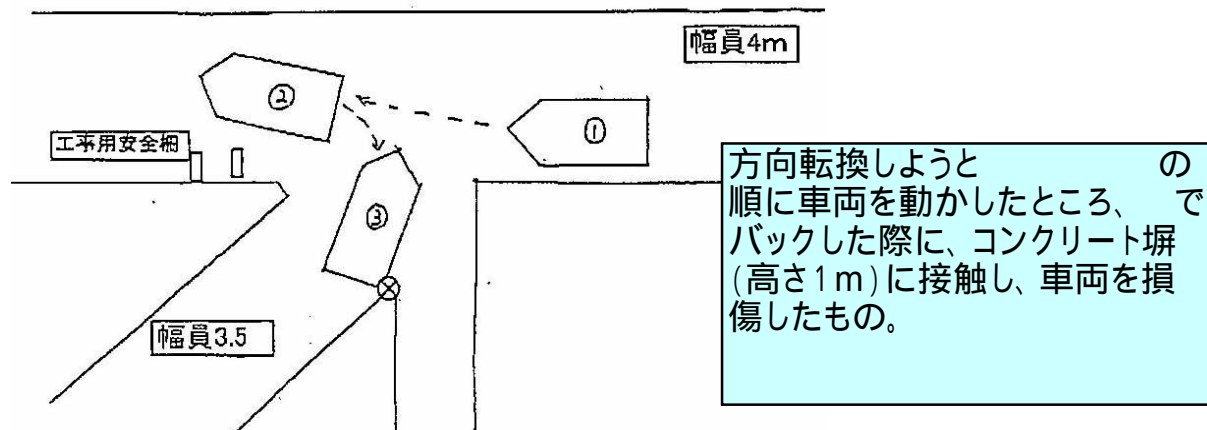
- ・上空制限箇所における接触に関する注意喚起不足。
- ・合図者とオペレータの間で誘導、合図方法の連携不足。 など

【事故防止のポイント】

- ・架空線や支障物等の近接箇所における作業時の注意事項について周知・徹底する。
- ・クレーン作業を緊急停止させる場合など、確実に伝わる方法で合図する。

| | | | | | |
|-------|---|----|----|-------|---|
| 発生日時 | 平成 23 年 2 月 1 日 (火) 19 時 30 分 | | | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 役務 | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | |
| | - | - | - | 官用車損傷 | |
| 事故概要 | 車両をUターンさせようとした際に、コンクリート塀に車両を接触、損傷させたもの。 | | | | |

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

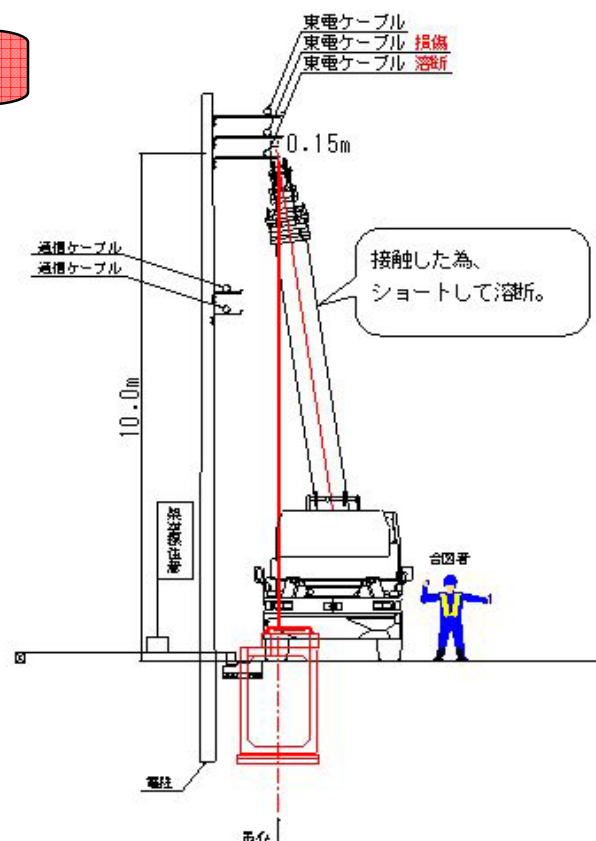
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・無理なく安全に停車、方向転換ができる場所を選択する。 など

| | | | | | |
|-------|--------------------------------|----|----|-----------------------|------|
| 発生日時 | 平成 23年 2月 10日 (木) 3時 0分 | | | 天候 | 曇時々晴 |
| 工事情報 | 道路系事務所 As舗装工事 | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | |
| | - | - | - | 架空線1本切断、1本損傷(541世帯停電) | |
| 事故概要 | クレーンにて電線共同溝特殊部を設置中、架空線を切断したもの。 | | | | |

事故発生状況



・電線共同溝の特殊部設置作業

・50tクレーンを使用し、3分割された特殊部の最後のブロックを吊降ろし、クレーンのブームを下げようとした時、電線が切れた。
(高圧ケーブルにクレーンが接触した為ショートし溶断したものと思われる)

・安全離隔距離として1.2m必要

【事故発生原因】

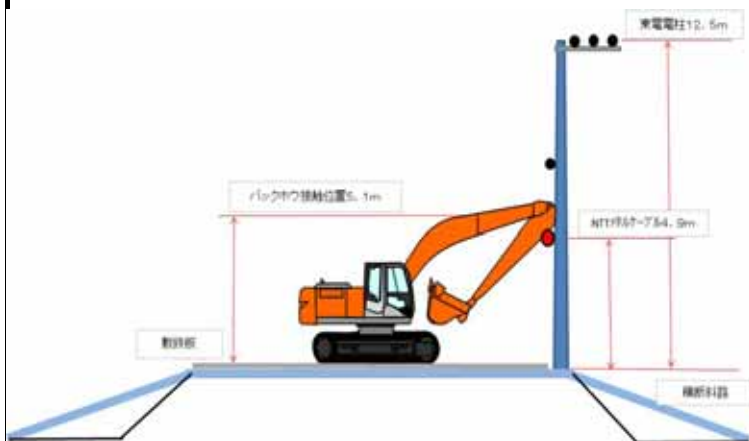
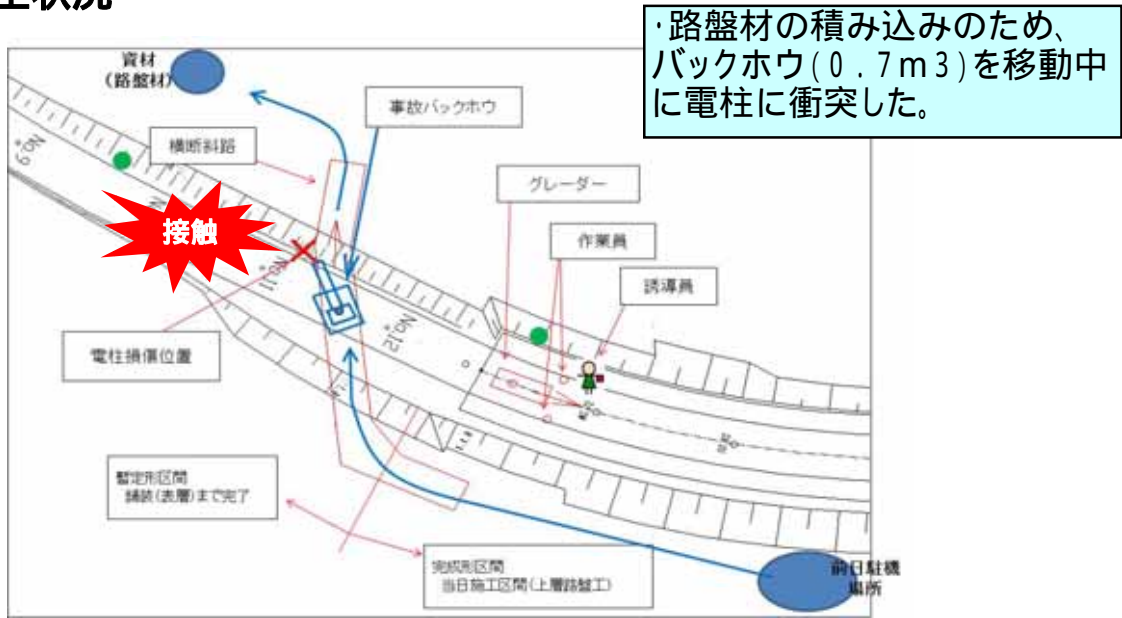
- ・高圧線近接作業における制限事項について周知不足。
- ・高圧線からの安全離隔距離を確保するための対策を講じていなかった。

【事故防止のポイント】

- ・架空線等の近接箇所における作業方法等の手順確認。
- ・架空線位置や注意事項等の作業関係者への周知徹底
- ・安全離隔距離を確保するための目印表示設置。
- ・接触のおそれのある高圧線には防護措置を講じる。 など

| | | | |
|-------|--------------------------------------|----|----|
| 発生日時 | 平成 23 年 2 月 10 日 (木) 8 時 40 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 河川系事務所 一般土木工事 | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 |
| | - | - | - |
| 事故概要 | バックホウを移動中、アームが電柱に衝突し、電柱を傾斜させてしまったもの。 | | |

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

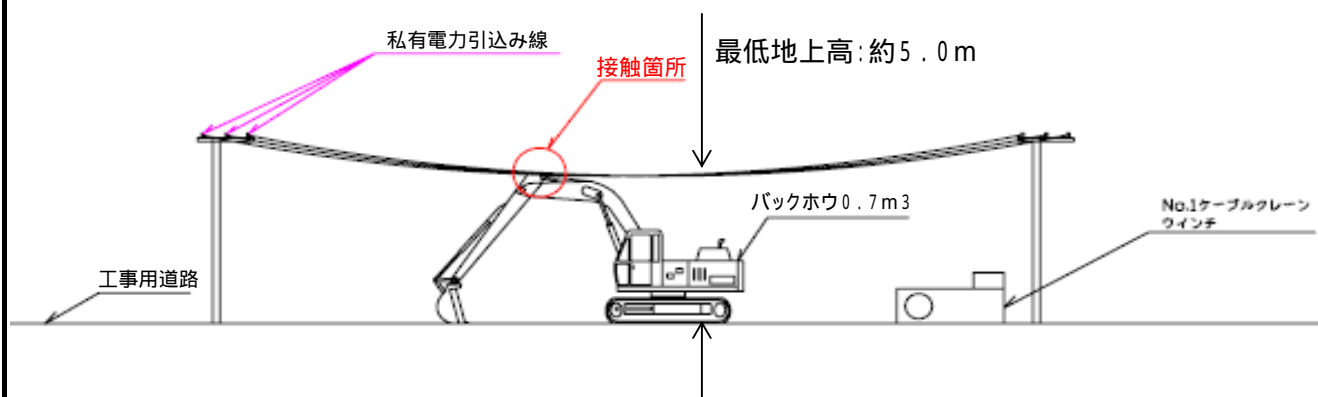
- ・支障物に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・誘導員を配置せず、目印等を設置していなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・支障物等の近接箇所における作業時の安全管理、注意事項を周知・徹底する。
- ・適切な誘導員の配置、及び合図等誘導方法の確認をする。
- ・現場状況にあわせた作業計画を立案し、作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

| | | | | | | |
|-------|--|----|----|------------------|----|---|
| 発生日時 | 平成 23 年 2 月 14 日 (月) | | | 9 時 20 分 | 天候 | 曇 |
| 工事情報 | 河川系事務所 法面処理工事 | | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | | |
| | - | - | - | 引込電線損傷 引込先で停電が発生 | | |
| 事故概要 | 現場の除雪作業中、バックホウのブームが私有電力線に触れ、碍子から外れたもの。 | | | | | |

事故発生状況



・ケーブルクレーンウインチ小屋を設置する作業予定であった。

・ウインチ周辺には、約15cmの積雪があったため、バックホウ(0.7m³)にて除雪作業を行っていた。

・その際、上部の架空線(高圧)にバックホウのブームが接触し、3本の内2本が電柱部において碍子から外れてしまった。

【事故発生原因】

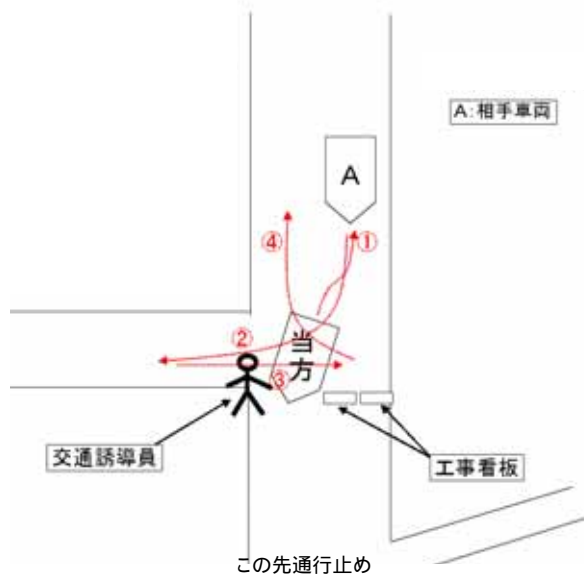
- ・架空線に対する注意喚起が不十分だったため。
- ・除雪に関する作業指示がなされておらず、単独で作業をおこなったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・架空線近接作業時の安全管理を周知・徹底する。
- ・誘導員の配置、及び合図等誘導方法の確認をする。
- ・現場状況にあわせた作業計画を立案し、作業内容を作業員に周知・徹底する。 など

| | | | | |
|-------|--|----------|----|------------|
| 発生日時 | 平成 23 年 2 月 15 日 (火) | 8 時 55 分 | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | 河川系事務所 役務 | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 |
| | - | - | - | 官用車・一般車両損傷 |
| 事故概要 | 用地交渉先へ向かう途中、方向転換のため車両を切り返そうと後退したところ、後続の一般車両に接触させたもの。 | | | |

事故発生状況



- ・前方が通行止めであったため、～の順序で方向転換をおこなおうとした。
- ・にてバックし際に、後方から来ていた一般車両に気がつかず、接触した。

車両損傷状況

【事故発生原因】

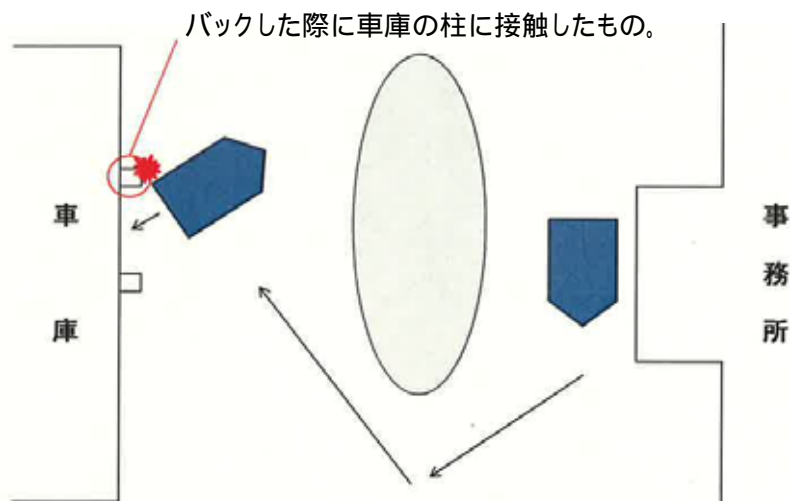
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
など

| | | | | | |
|-------|--|----|----|-------|---|
| 発生日時 | 平成 23 年 2 月 25 日 (金) 13 時 30 分 | | | 天候 | 晴 |
| 工事情報 | その他事務所 役務 | | | | |
| 被災の状況 | 性別 | 年齢 | 職種 | 被災の程度 | |
| | - | - | - | 官用車損傷 | |
| 事故概要 | 事務所車庫へ車両を入れようとした際に、車庫の柱に接触し車両を損傷させたもの。 | | | | |

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
 ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など